上野動物園新聞

仕事内容

掃除中心の重労働

今回、職場体験を学校で行うという事になり、私は、上野動物園に行きました。人数は6人で、服装は動きやすい服(ジャージなど)、弁当・長靴持参でした。仕事の開始は8時からで、2人ずつ組んで仕事を行いました。私は都築さんと組むことになりました。動物園は、西園と東園に分かれており、1日ごとに場所を変えながら体験させてもらいました。

一日目、私たちは、東1班というところに行きました。そこの担当は、ソウとサル山、ホッキョクグマでした。まず最初に、ソウの部屋の掃除をしました。そのとき掃除したのは、メスの部屋のみで、オスの部屋は、危険なため外に出してから掃除しました。糞や、食べ残しの餌など、大きなゴミを箒とスコップ、シャベルを使って一輪車に乗せて運び、つぎに、高水圧の水で部屋を壁まで洗いました。掃除が終わりいったん事務所にいって夜間のゾウの映像を見て寝方の記録をとりました。終わった後昼食を取り、昼の餌をゾウ達にあげ、その後調教を1時間ほど見させてもらいました。その後、ホッキョクグマに鮭をあげさせてもらいました。さいごに、ゾウを部屋に戻して1日目は、終わりました。

2日目、私たちは西園に行きました。今回は、1人ずつに分かれて、やりました。私はカバとコビトカバ、シマウマの担当になりました。最初に、濡れないよう合羽と手袋を借りて着ました。まず外の掃除をして餌を置き、その後にシマウマを部屋から出しました。次に中に戻って部屋を水で洗い、飲み水を入れ替え、床の水を切りました。その後部屋の中にも餌を置きました。次にコビトカバ、カバを外に出し餌をやった後、室内の部屋を掃除しました。部屋は、プールと一緒になった形で洗った後、プールに水を入れボイラーを使って温めました。昼食をとった後、その日は昼から小雨が降って冷えてきたので、早めにカバ達を部屋に戻しました。その後、外を掃除しました。掃除し終わり、プールに水が溜まるまでは周辺の落ち葉を拾って少しでもきれいになるよう掃除しました。掃除がすべて終わった後掲示物を貼り、この日の仕事は終わりました。

3日目、私たちは子供動物園にいきました。子供動物園ではヤギやヒツジ、ニワトリ、ウサギ、ネズミなどがいましたが、今回も一人ずつに分かれて私は、ウサギ担当になりました。まずマスクを着け、部屋の中の藁を取替えました。その後、洗剤を使い床を洗って、みずをきって、排水溝のごみを取り、終わりました。その後、餌をあげ、ゴミを捨てに行きました。次に、野菜を切ってヤギやブタの餌を切りました。東屋という建物の掃除をしいったん昼食をとり、その後、お客さんに動物と触れ合ってもらう「ふれあい動物園」の準備をしました。ふれあい動物園では、モルモット、ウサギ、ハツカネズミ、ヒヨコと触れ合っていただくので、その動物たちを飼育舎から出しました。三十分は、モルモット、後三十分は、ハツカネズミを担当しました。その後、ミーティングをして、職場体験は、終わりました。

飼育している人達の苦労

今回、職場体験にいかせていただきその体験の中で仕事のたいへんさ、厳しさについて学びました。その中で特にたいへんだと思ったことについてまとめてみたいと思います。

一日目ー　ゾウ舎に行かせていただきました。ゾウ舎ではゾウの部屋の掃除をしました。掃除内容は、箒とスコップを使ってゴミを取る・水で洗うなどの単純な作業でしたが、とても部屋が広く大変でした。また、水で洗うにしても、手際よくやらないと時間がありませんでした。その後えさをおきましたがこれも力仕事でした。また、倉庫の中にはみなにゾウをわかってもらうためにゾウの糞や皮膚、歯の標本がとってあり、部屋の中の餌の置く位置もお客さんに見やすいように工夫していました。

二日目ー　二日目も、基本的には掃除を中心とした力仕事でした。その日はたまたま、私の行かせてもらったカバ、コビトカバ舎では担当の人が一人休みでとても忙しかったです。また、掲示物に対する、飼育係の人の努力についてもはじめて知りました。本当は、掲示物は必ずこなさないといけない仕事内容ではないそうですが、多くの飼育係の人は自主的に余った時間を作って製作するそうです。少しでも解りやすいようにするために、こんなに苦労しているんだなと思いました。

3日目ー　子供動物園に行かせていただきました。子供動物園ではアルバイトの方もたくさんいましたが、どの人も挨拶などの基本的なことをしっかりしていました。また、動物園の中でも珍しく子供動物園では、接客も大切になります。そのときに、きちんと返事をしないと相手に自分の意思が伝わらないということがわかりました。また、たくさんの人が怪我しないように気をつけることが大変だということもわかりました。

動物たちに関する質問

今回、動物園に行き質問をした中で一番気になった質問を取り上げて載せたいと思います。

ゾウ舎にて

餌の量が多い動物は？

問1、動物の中で餌の量が多いのは何ですか？
答え、ゾウが一番多い。一食70から80キロ食べる。次いでカバとサイ。平均的に肉食動物より草食動物のほうが多い。

問2、この仕事に就くための資格はありますか？
答え、特に資格は必要ないが、畜産学科や獣医学科等動物関連の学科を出る必要がある。

続いて場所ごとでの質問

問1、餌の種類は。
答え、干草牧草を中心に笹砂糖黍、ペレット、調教の時などにはパンやバナナもあげています。

問2、餌に振りかけているのは何か。
答え、ビタミン剤。足りない栄養を補うのに使っています。

問3、笹や砂糖黍などもあげているようですが茎は食べるのですか。
答え、逆に茎のほうを先に食べます。
カバ、コビトカバ舎にて

問1、ボディクリームがありますが何に使うのですか。
答え、肌荒れしないように カバの肌に塗ります。

問2、カバの餌の中に入っているのは何ですか。
答え、おからです。たくさん食べさせられないので、栄養価の高いおからをあげています。

子供動物園にて

問1、なぜマスクをするのですか。
答え、ウサギの毛を吸い込まないようにするためです。

問2、なぜハツカネズミに色をつけているのですか。
答え、咬むハツカネズミがいるので見分けるためです。

このような答えが返ってきました。質問をさせてもらえたことで色々な事がわかりました。質問に答えてくれた皆様ありがとうございました。

感想

今回、職場体験に生かせてもらって、自分の持っていた仕事に対するイメージがかわりました。以前は、「少しぐらい妥協してもいいだろう。」と思っていましたが、今回、「仕事は完璧にこなして、かつできる限り短い時間でこなさなければいけない物」へと変わりました。どの人も、短い時間と少ない手間で仕事をこなし、お客さんの見やすいようにするにはどうすればいいか、動物たちはどうしたほうが元気にいられるかということを考えていました。また、グループで仕事するときは声でコミュニケーションをとらないと自分の意思が伝わらないということを改めて感じました。どうぶつえんはたくさんの努力があってこそ今の見やすい、楽しい場所になっているということを感じながら、また動物園にいきたいなと思います。